

ねば數回行ふも可なり。何回行ひても舎監の權威に關することなし。入學のとき身體検査を嚴重に行ひて怪しきものは入學せしめぬことに致し度し。緩くして入學せしめて血を吐くまで寄宿舍に置いては傳染の媒介をするやうなものではないか。私の娘は彼の寄宿舍で肺病になつたと謂はれたら何と答へませうか。人の子を預かる以上は極力その健康を保證する方法を講じなければ世の中に對して申譯なき次第にはあらざるか。

一木文相の訓示

各府縣郡視學講習會に於ける一木文相の訓示要領下の如し。

國際競争に於て優位を占むると否とは國家の實力如何にあり。而して國家の實力は健全なる國民精神の活動と其の物質的文明の發達とに俟たざるべからず、而も是等實力の培養は主として普通教育の發達學何に存す。國際競争に堪ふる國民は身體も精神も共に剛健にして忍耐持久の性に富まざるべからざるを以て學校衛生の如き其の最良手段たり。又國富を圖らんが爲めには實業教育の振興を圖らざるべからず云々。

衛生思想普及策

内務省は五年度豫算を以て衛生參考諸材料を購入し、之を各府縣巡回貸付の方法により、衛生思想普及の講話會又は展覽會を開かしむる計畫ありといふ。

是れ我輩の双手を舉げて賛する所なり。我國の西洋文化に接したるは醫術の媒介によれり。支那に對して拙き外交をなすよりも隣邦の交誼を理解せしむるは醫者の輸出にあり女醫の輸出にあり。

學問獨立の好機

歐洲大戰役後に於ける我國の科學研究方針に關し、福原文部次官は曰く、今次の大亂に由り文政上最も切實に感ずる點は、我國の科學振興を圖るの必要是也、今回の戦争は一面より觀れば確に科學の競争也、獨逸品の輸入杜絶が我學術界又は工業界に影響する所少からざるは勿論、戦争終局後に於ても當分我國は獨逸兩國より何物をも學び得ざる事は豫じめ覺悟せざるべからず。されば將來は大に自國の學術研究機關を完備し、學問の獨立を企圖せざるべからず、學問の獨立は即ち商工業の獨立也、商工業の發展は先づ學術研究に其基礎を措くを要す。

帝國大學は目下最高の學府として一通りの教育には十分なるも、學術の蘊奥を攻究して之が獨立を圖る機關としては決して完全と言ふ能はず、近來化學研究所設立の企あり、洵に結構なる事なるも、此のみにては尙ほ十分ならず、全學術の基礎なるべき物理、化學、博物學等の純正科學の研究が一層隆盛とならざる限りは、到底獨逸を凌駕するは勿論、之を雁行することすら不可能なるべし、我學界に於て特に貧弱なるは純正科學にして、此方面の學者洵に鮮し、研究所の不備と學者養成法の不完との爲めに、有爲の青年にして此方面に志す者至つて鮮し、文部當局も爰に見る所あり、工業教育殊に化學工業教育の擴張を圖り、大正四年度豫算中右に關する經費を計上したりしも不幸にして不成立となれり。

然れども工業教育の振興策又は工業の發展策の基礎は純正科學の研究に在るを以て、純正科學を度外したる工業は畢竟根なき花也、獨逸の工業の發達は、其工業が深遠なる科學の上に立脚せるが爲にして、我國に於ても工業の美花を得んとせば、先づ科學と稱する根を培はざるべからず、國家永遠の計は唯目先の事にては瑣明くべからず、此等の事業は多額の經費を要するは勿論なるも、根底を有せざる應用科學又は斯る應用科學の立脚する文明は甚だ貧弱にして且つ危險なる文明也。

日本藥學會

日本藥學會第二日は、十八日午前九時より醫科大學藥學教室に開會、關東都督府技師慶松博士の蟻酸及び蔞酸製造法を始め、外數氏の演説ありたるが、本年は製藥工業に關する報告多く、時局の爲め内地製藥の開拓に着手せる傾向あるは喜ぶべし。

カフェイン 丹羽藥學博士は、静岡縣に於て製造しつつあるカフェインに就き述べて曰く、同縣にては初め茶に石灰を混じて外國に輸出し、肥料なりと稱し居たるが、其後巡查片山某其のカフェインの原料なる事を知るに至れり、カフェインは亢奮劑として茶の中に含むものにて、之を外國より輸入する時は一封十圓位の價格なるが、同縣の技師より交渉を受けて余が之を製造する事となり、今日にては其輸入は全く必要なきに至れり、静岡縣は茶の産額非常に多く、輸出茶四百八十萬貫、内地消費の分二十四萬貫なれど、此の他に泥茶なるものあり、此の泥茶は塵芥等も混じて甚しく不潔のものなれば、之を篩にかけ、番茶として各地停車場にて旅客の茶に供し、其の粉末は即ちカフェインの原料として歐洲諸國に輸出し年額十二萬貫に達す。茶は一番二番三番と其の若芽を順次に摘み取り、最後に長く延びたる新葉は初秋の候に至